

2. 調査の概要

道路橋の被害状況を把握するために、2011年6月23日に被害の報告のある橋梁等の調査を行った。また、その後の復旧状況等を調査するため、2012年9月28日に再度調査を行った。調査対象橋梁の位置を図-2.1に、諸元や被害状況の概要を表-2.1に示す。

今回の地震による橋の被害は、図-2.1に示す範囲の限定的な地区のみに生じている。なお、国道117号線から千曲川を横過する橋が幾つかあるが、これらの橋については橋の構造本体に大きな被害の報告はなされていない。



図-2.1 調査橋梁の位置図（電子国土webに加筆）

表-2.1 調査橋梁一覧

| 番号 | 橋梁名 | 竣工年 | 構造形式と適用基準 | 主な損傷状況 |
|----|---------------------|------------|--|--|
| 1 | 中条橋 | 1963 | 単純合成桁＋上路式ワーレントラス桁＋単純合成桁 逆 T 式橋台，RC ラーメン橋脚 適用基準：昭和 31 年道示 | <ul style="list-style-type: none"> ・橋台・橋脚の傾斜 ・橋台背面土の沈下 ・橋台パラペットの損傷 ・支承部の損傷 |
| 2 | 栄大橋 | 1985 | 単純非合成 I 桁＋3 径間連続鋼箱桁 逆 T 式橋台，RC 張出し式橋脚 適用基準：昭和 55 年道示 | <ul style="list-style-type: none"> ・桁端部の損傷 ・橋台パラペットの損傷 ・支承部の損傷 |
| 3 | 青倉橋 | 1985 | 鋼単純非合成鈹桁＋PC プレテン合成床版×2 逆 T 式橋台，RC ラーメン橋脚 深礎杭 適用基準：昭和 55 年道示 | <ul style="list-style-type: none"> ・橋台背面土の沈下 ・橋脚柱部の損傷 ・支承部の損傷 |
| 4 | 北沢橋 | 1985 | 単純非合成鈹桁＋単純非合成箱桁 逆 T 式橋台，RC 壁式橋脚 深礎杭 適用基準：昭和 55 年道示 | <ul style="list-style-type: none"> ・橋台ウイング，パラペットの損傷 ・橋脚柱部の損傷 ・支承部の損傷 |
| 5 | 境川橋 | 1971 | 単純合成鈹桁＋上路式ワーレントラス桁＋単純合成鈹桁 逆 T 式橋台，RC 壁式橋脚 直接基礎 適用基準：昭和 39 年道示 | <ul style="list-style-type: none"> ・橋台背面土の崩壊 |
| 6 | 清水河原 スノー シェッド | 1960 年代 | RC 門型ラーメン構造 | <ul style="list-style-type: none"> ・スノーシェッドの倒壊 |